

第67回経営協議会議事要録

日時 平成27年6月25日（木）13時00分～14時54分

会場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者（委員）

内田、丸茂、原、赤澤、奥村、北島、佐山、塚本の各委員
島田学長、早川理事、堀理事、下間理事、杉山理事、藤井理事

（列席者）

鮎川監事、古井監事、岩崎副学長、白沢学長補佐、高村総務部長、中村人事部長、
本多財務管理部長、松永施設・環境部長、清水教学支援部長、大木総合情報戦略部長、
丸山医学域総務課長、望月企画課長、山田研究支援課長、小林総務課長、杉浦人事課長、
九鬼財務管理課長、石原監査室長

議事要録確認

第66回経営協議会（27.5.21開催）の議事要録を確認した。

審議事項

1 第3期中期目標・中期計画（素案）について

早川理事から、第3期中期目標・中期計画（素案）の策定に関し、各学域等からの意見や文部科学省の指導を踏まえ精査した最終案について、資料1により説明があり、審議の結果、特段の意見がある場合は6月30日（火）の文部科学省提出期日までに早川理事に提出いただくこととし、今後の修正は学長一任とすることを承認した。

2 平成28年度運営費交付金概算要求におけるビジョン／戦略／取組定員の増及び学部名称の変更（案）について

杉山理事から、平成28年度運営費交付金概算要求におけるビジョン／戦略／取組（案）について、資料2により、文部科学省からの指摘事項や第3期中期目標・中期計画（素案）を踏まえて作成しており、さらに文部科学省と相談しつつ内容を精査したい旨の説明があり、審議の結果、特段の意見がある場合は7月22日（水）の文部科学省提出期日までに杉山理事に提出いただくこととし、今後の修正は学長一任とすることを承認した。

3 教育人間科学部生涯学習課程の学生募集停止に伴う生命環境学部入学定員の増及び学部名称の変更（案）について

堀理事から、教育人間科学部生涯学習課程廃止に伴う学部名称の変更及び生命環境学部入学定員増（案）について、資料3により、6月23日（火）の文部科学省との事前相談において了解が得られた旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。併せて、生命環境学部の新設する観光政策科学特別コース等について、対外的な公表に係る留意事項を踏まえて上で積極的な広報に協力いただきたい旨の依頼があった。

4 平成 26 年度決算（案）について

杉山理事から、平成 26 年度事業年度決算（案）について、資料 4-1 から 4-4 により、財務諸表、決算報告書及び事業報告書について説明があり、審議の結果、これを承認した。

5 山梨大学設備マスタープラン（案）について

杉山理事から、教育研究設備及び医療設備の整備方針を定めた山梨大学設備マスタープラン（案）について、資料 5 により説明があり、審議の結果、これを承認した。なお、今後、概算要求等により変更が生じた場合は、その取扱いを学長に一任することを確認した。

6 平成 26 年度業務実績報告書（案）について

早川理事から、平成 26 年度業務実績報告書（案）について、資料 6-1 及び 6-2 により説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 救急部等職員の交代制勤務における体制の整備（案）について

下間理事から、救急部等職員の交代制勤務における体制の整備（案）について、資料 7 により、山梨大学に勤務する職員の勤務時間等に関する規程を一部改正して、救急部等職員の交代制勤務に準夜勤及び新夜勤を追加してきめ細かい勤務形態に整備する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

8 大学院医学工学総合教育部の名称変更（案）について

堀理事から、大学院医学工学総合教育部の名称変更（案）について、当日配付資料により、文部科学省との事前協議を経て「総合教育部」から「医工農学総合教育部」に再度名称変更申請することについて説明があり、審議の結果、これを承認し、併せて英語表記について確認した。

報告事項

1 教育研究評議会の開催状況について

下間理事から、第 138 回教育研究評議会の開催状況について、資料 8 により報告があった。

2 役員会の開催状況について

下間理事から、第 158 回役員会の開催状況について、資料 9 により報告があった。

3 年俸制適用者及び平成 27 年度募集について

下間理事から、年俸制適用者及び平成 27 年度募集について、資料 10 により、昨年 10 月から導入した年俸制の適用教員（目標値 60 名）の現状（27.6.1 現在で 53 名）の報告があり、昨年と同様の方針により、別の類型に再応募を可能とした 7 名程度の追加募集を 7 月に実施する旨の説明があった。

4 平成 27 年度国立大学改革基盤強化促進費について

杉山理事から、平成 27 年度国立大学改革基盤強化促進費について、資料 11 により文部科学省に 2 件を申請した旨の報告があった。

5 第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方について（審議まとめ）

杉山理事から、6月15日付けで文部科学省が公表した「第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方（審議まとめ）」について、資料12により、各大学の機能強化の方向性に
応じた重点支援の枠組み等の報告があり、これらを踏まえ平成28年度概算要求に向けて準備作業を
進めていく旨の説明があった。

以上

学外委員からの意見等

○審議事項3

教育人間科学部生涯学習課程の学生募集停止に伴う生命環境学部入学定員の増及び学部名称の変更（案）について

（奥村委員）

担当する教員においては、地域連携及び産学連携を大切にして頂きたい。また、人材育成において、グローバル化も必要と思う。

（佐山委員）

生命環境学部地域食物科学科のワイン科学特別コースにおいて、ワインブームとなっているのでかなりのニーズがあるのではないかと。海外と連携し、ソムリエの資格を取得できる仕組みを取り入れたらどうか。

生命環境学部地域社会システム学科に新設される観光政策科学特別コースについて、政策科学とあるので、地震、火山、防災等幅広く取り入れることにより科学コースらしくなるのではないかと。将来の学部設置も視野に取組をするとよい。

（北島委員）

ワイン科学特別コースは、山梨大学の目立つポイントになると思う。

観光政策科学特別コースは、観光に科学として scientific にかつ logical に取り組むのは特徴的、ユニークで有用性があり、これから必要な分野だと思う。科学的に発展させてほしい。

（塚本委員）

山梨の個性あるワイン造りに観光やマーケティングと自然を結び付けるコースを創ってほしい。

（丸茂委員）

観光政策科学特別コースは大変期待ができると思う。県の産業技術短期大学校にも観光ビジネス科があるが、県内の観光及び国際化の取組をリードする指導的立場になってほしい。

（内田委員）

教育人間科学部生涯学習課程の発展的廃止に伴い教育学部が教育に特化する中で、良い伝統を生かしていただきたい。

（赤澤委員）

ワイン科学特別コースは、県の自治体と連携したカリキュラム作りが成功への鍵の一つになると思う。

（学長）

各委員からいただいたご意見を取り入れながら、発展させていきたいと思っております。

○審議事項 4

平成 26 年度決算（案）について

（奥村委員）

病院経営において、様々な経費節減の努力が大切である。

（塚本委員）

附属病院の目玉となる最新医療を積極的に P R して観光と医療を結び付けていただきたい。

（学長）

各委員からいただいたご意見を念頭に、病院の経営に努めたいと思います。